

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和8年
9月号



東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

第34週（8月17日～8月23日）の定点当たり報告数

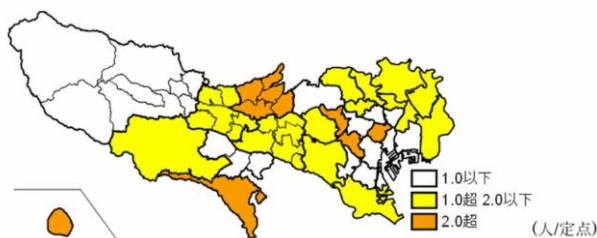
・インフルエンザ

東京都 1.49人/週（前週0.90、前々週0.82）

墨田区 1.13人/週（前週1.00、前々週1.00）

⇒都内の第34週の定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、**昨年よりも1か月以上早く、流行開始の目安となる定点当たり1.0人を超えました。**

インフルエンザ流行分布マップ



インフルエンザの予防、拡大防止のために基本的な感染予防策を心がけましょう。

<インフルエンザ対策のポイント>

- こまめな手洗い、消毒
- 咳エチケット
- 着用が効果的な場面でのマスク着用
- 休養、栄養・水分補給
- 適度な室内加湿・換気
- ワクチン接種（かかりつけ医と相談）



麻しんの流行状況と

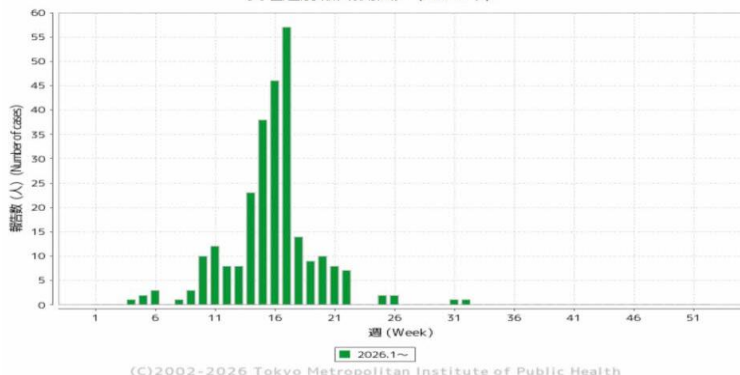
墨田区の抗体検査・ワクチン接種（任意）費用助成

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

東京都では、**2026年春に麻しんの報告が増加**しましたが、現在は報告数が減少し、流行は落ち着きつつあります。麻しんは非常に感染力が強く、予防には免疫をもっていることが重要です。この機会に、対象となる方は抗体検査や予防接種の助成制度をご利用ください。

東京都の麻しん報告数の推移（2026年8月20日現在）

受理週別報告数推移（2026年）



・都内では患者数は減少しているものの、引き続き注意が必要です。

・MR（麻しん・風しん）ワクチンの定期接種を受けているか確認しましょう。



予防接種の助成について詳しくは墨田区公式HPをご覧ください



大人の麻しん抗体検査・ワクチン接種（任意）

区では麻しん（はしか）の発生と重症化の予防を目的として、19歳以上の区民を対象にした麻しんの抗体検査と抗体価が低い方を対象とした予防接種の費用助成事業を実施しています。

実施期間：2027年3月31日まで

無料で抗体検査を受けるためには、区が発行する受診票が必要です。

対象となる方には条件があります。

詳細は区公式ホームページをご確認ください。

子どものMR（麻しん風しん混合）任意接種

区ではMRの定期接種期間を過ぎた後でも、対象の方には、MR予防接種の費用を助成しています。

また、令和6年度のMRワクチン供給不足により、接種対象期間内に定期接種を受けられなかったお子さんは、期間を超えて接種を行うことができます。

対象となる方には条件があります。

詳細は区公式ホームページをご確認ください。

9月24日～9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間です

厚生労働省では、毎年9月24日から9月30日を「結核・呼吸器感染症予防週間」として、感染症予防の普及啓発を行ってきましたが、令和8年度から同期間に「非結核性抗酸菌症啓発週間」が新設されました。

結核は日本では結核低まん延国の水準を達成した一方で、低下傾向は鈍化しており、国内においても依然として重要な感染症の一つです。また、世界では途上国を中心に年間 125 万人が死亡する最大の感染症です。

基本的感染対策や予防接種の重要性等、呼吸器感染症に関する知識の普及啓発を図っていきます。

▶結核ってどんな病気？

結核菌によって発生する、日本の主要な呼吸器感染症の一つです。

現在でも、**全国で約1万人、東京都でも約1200人**が毎年新たに報告されています。

結核は誰でもかかる可能性があり、適切な治療により治る病気です。



▶早期発見・早期治療が大切です

学校健診や職場健診、特定健診などで**年に1回、必ず胸部エックス線検査を受けましょう。**
発病を早期発見できれば、重症化を防げるだけではなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。



せき・たん・発熱、体のだるさ（倦怠感）が2週間以上続く場合は医療機関を受診しましょう

▶乳幼児はBCG接種を

乳幼児の結核予防にはBCG接種が有効です。

結核の重症化を防ぐワクチンとして、生後1歳に達するまでに定期接種として受けることができます。



▶非結核性抗酸菌感染症とは？

非結核性抗酸菌感染症（NTM症）は、身近な環境（土壌、水系など）に広く存在する非結核性抗酸菌によって発生する感染症です。

ヒトからヒトへは基本的に伝播しませんが、高齢者や基礎疾患のある方では発症しやすく、日本では患者数が増加傾向にあります。

長引く咳や痰などの症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

非結核性抗酸菌感染症
について
厚生労働省HP



▶どうやって感染するの？

結核菌を排出している患者がくしゃみや咳をしたときに、空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことで感染します。

「感染」しても必ず「発病」するとは限りません。
健康で体力があれば、通常は免疫機能が働いて結核菌の増殖が抑えられます。栄養状態の悪化や加齢とともに免疫力が低下したり体力が落ちた時に発病することがあります。

▶予防のために

日ごろの心がけが、結核や呼吸器感染症にかかるとを防ぎ、自分やまわりの人を守ることに繋がります。

- ・十分な睡眠
- ・適度な運動
- ・バランスの良い食生活
- ・タバコを吸わない



もう、オウコン

結核・呼吸器感染症予防週間
9.24～9.30

いいえ、**毎年、約1万人が新たに結核と診断されています。**

呼吸器感染症
いつかくる次の大流行に備えて、毎日・毎年の予防習慣が第一歩です。

マスク
換気
ワクチン
手洗い

いつまでもたっても流行中！忘れず続け、対策を進めましょう！